

▶スコアボード▶

F・マリノス プレシーズンマッチ  
 対マンチェスターユナイテッド  
 7月23日(火) 19:20K/O 日産スタジアム  
 全日本クラブユース選手権 決勝  
 8月3日(土) 18:00K/O ニッパツ三ツ沢  
 第52回日朝親善サッカー大会  
 8月10日(土) 三ツ沢陸上  
 8月17日(土) ニッパツ三ツ沢



発行 一般社団法人横浜サッカー協会  
 編集 同 広報委員会  
 〒220-0012 横浜市西区  
 みなとみらい6-2-1  
 TEL(045)662-4315 FAX663-5800  
 http://www.yokohama-fa.or.jp  
 印刷 神奈川新聞社  
 〒231-8445 横浜市中区  
 太田町2-23  
 TEL227-0808 FAX227-0785

平成25年度事業計画

- サッカーに係る試合の主催及び公式記録の作成に関する事業(定款第4条第1号)
    - 平成25年度キッズ大会
      - 時期 平成25年6月、9月、平成26年2月の3回
    - 第16回選抜少年サッカー大会(マリノス杯)
      - 時期 平成25年9月14日(土)~22日(日)
    - 第39回市長杯横浜少年サッカー大会
      - 時期 平成26年1月4日(土)~3月2日(日)
    - 第40回横浜市春季少年サッカー大会
      - 時期 平成25年4月7日(日)~7月7日(日)
    - 第45回横浜国際チビッ子サッカー大会
      - 時期 平成25年9月29日(日)~11月30日(土)
    - 2013NHK杯8人制少年サッカー大会(兼県大会横浜市代表決定戦)
      - 時期 平成25年8月31日(土)、9月1日(日)
    - 第48回市長旗争奪ジュニアサッカー大会
      - 時期 平成25年10月~11月
    - 第21回カトレア杯少女サッカー大会
      - 時期 平成25年9月
    - 第25回横浜少女サッカー大会
      - 時期 平成25年4月14日(日)、6月23日(日)、9月7日(土)  
 平成26年1月12日(日)、2月9日(日)、3月15日(土)
  - 平成25年度レディースマスターズサッカー大会
    - 時期 平成25年5月5日(日)、7月15日(祝月)、9月23日(祝月)  
 平成26年2月11日(祝火)、3月21日(祝金)
  - 平成25年度市民リーグ社会人の部
    - 時期 平成25年5月~26年3月
  - 平成25年度市民大会社会人の部
    - 時期 平成25年5月~26年3月
  - 平成25年度市民マスターズサッカー大会
    - 時期 平成25年4月~26年3月
  - シニア新春サッカーフェスティバル
    - 時期 平成26年1月12日(日)
  - オールボーイズフェスタ
    - 時期 平成25年4月29日(祝月)、9月23日(祝月)、10月14日(祝月)、  
 12月23日(祝月)、平成26年2月11日(祝火)、3月21日(祝金)
  - シニア親善サッカー大会
    - 時期 平成25年4月~26年3月
  - 2013ビーチサッカー大会
    - 時期 平成25年8月3日(土)、4日(日)
- サッカーに係る団体の登録に関する事業(定款第4条第2号)
    - (1)登録数 社会人:119 少年:171 シニア:32 女子:13  
 ジュニアユース:26、中・高体連等:4 計365チーム
  - サッカーの指導者等の養成に関する事業(定款第4条第3号)
    - コーチングセミナー(D級養成)
      - 時期 平成25年11月2日(土)、3日(日)(2日間)
    - 審判員の指導養成
      - 時期 平成25年 延べ2日間
  - サッカー技術の向上に関する事業(定款第4条第4号)
    - U11育成リーグ
      - 時期 平成25年4月~平成26年3月 平日夜間 10回
    - U13育成リーグ
      - 時期 平成25年5月~平成26年3月 平日夜間 20回
    - U15強化試合
      - 時期 平成25年8月、12月、平成26年3月 平日1日間 3回
    - GK講習会
      - 時期 平成26年3月8日(土)
    - トレセン事業
      - 時期 平成25年4月~平成26年3月
    - ジュニア競技力養成事業
      - 時期 平成25年7月~12月
    - 第38回神奈川県選抜少年サッカー大会への参加
      - 時期 平成25年7月20日(土)、21日(日)、27日(土)
    - 第33回神奈川県チャンピオンシップU-12への参加
      - 時期 平成25年8月24日(土)、25日(日)、8月31日(土)
    - 第5回神奈川県チャンピオンシップU-10への参加
      - 時期 平成25年8月24日(土)、25日(日)、8月31日(土)
    - 第11回神奈川県8人制サッカー大会兼8人制関東大会予選への参加
      - 時期 平成25年12月14日(土)、15日(日)
    - 第4回神奈川県地域交流大会への参加
      - 時期 平成25年9月
    - 第8回神奈川県地域対抗サッカー大会への参加
      - 時期 平成25年11月
  - サッカーに係る広報及び普及に関する事業(定款第4条第5号)
    - 広報誌の発行
      - 印刷部数 2,000部 発行時期 年4回(6月・9月・12月・3月)
    - サッカーフェスティバルの開催
      - 時期 平成26年1月13日(祝月)
    - 「シニア・レディースエンジョイサッカー教室」サッカー指導
      - 時期 平成25年4月・5月・6月・7月・9月の第3日曜日と10月14日(祝月)  
 計6回
    - 生涯サッカー教室の開催
      - 時期 平成25年4月~平成26年3月 火・金昼間開催 30回
  - サッカーに係る地域間交流に関する事業(定款第4条第6号)
    - 日韓ジュニアサッカー交流大会(2013年は韓国開催)
      - 時期 平成25年8月5日(月)~8日(木)
    - 第52回日朝親善サッカー大会
      - 時期 平成25年8月10日(土)、8月17日(土)
    - 日韓シニア交流大会
      - 時期 平成25年7月20日(土)~22日(月)
    - 横浜招待少年サッカー大会
      - 時期 平成25年12月14日(土)・15日(日)
    - 横浜招待シニアサッカー大会
      - 時期 平成26年2月8日(土)・9日(日)
    - シニア地域交流大会
      - 時期 平成26年3月9日(日)
  - サッカーの試合会場の提供に関する事業(定款第4条第7号)
    - 時期 平成25年4月~26年3月
  - サッカーに係る試合の運営受託に関する事業(定款第4条第8号)
    - 受託事業
      - 時期 平成25年4月~26年3月
      - 対象事業 Jリーグ・Jリーグカップ・JFLサッカーリーグ・天皇杯・国際試合・関東大学サッカーリーグ・日本クラブユース選手権・キャノンカップ・ハマふれんど及びその他の各種フットサル大会の運営受託。
  - スポーツ施設の管理運営受託に関する事業(定款第4条第9号)
    - 運営受託事業
      - 時期 平成25年4月1日~平成26年3月31日
      - 対象事業 しんよこフットボールパークの管理運営受託(集客業務含む)
  - その他の法人の目的を達成するために必要な事業(定款第4条第10号)
    - 横浜市民のスポーツ文化に対する助成事業
    - 各種大会に対する後援・協力事業
      - マリノスカップ、MHI横浜カップ、朝日新聞サッカー教室等の後援。
      - 日産スタジアム・ニッパツ三ツ沢陸上競技場及び三ツ沢陸上競技場等で開催される各種大会に役員を派遣し、運営に協力する。
      - 市内各種大会へ審判を派遣し協力する。

公益性を捉え

一層の事業推進へ

会員総会、社会人総会開く

U-15強化試合など臨時会員総会

一般社団法人横浜サッカー協会は3月22日午後6時30分から、かながわ県民センターで平成24年度臨時会員総会を開き、平成25年度事業計画、平成25年度収支予算について審議、決定した。

事業計画では、一般社団法人としての公益事業が取り入れられ、前年度からのU-11育成リーグ、U-13育成リーグ、U-15強化試合や生涯スポーツ教室が継続実施される。また、キッズから、少女、少年、ジュニア、レディース、社会人、シニアまで多くの大会が行なわれる。

リーグ優勝を表彰 社会人委員会総会

5月11日関内ホール小ホールにおいて、平成25年度社会人委員会総会および市民リーグ表彰が行われた。併せて市民大会抽選会も行われた。昨年度、市民リーグ、市民大会ともに会場利用について注意事項が守られなかったことが多々発生し、会場によっては

利用禁止となったところもあり、チーム代表者が集まった総会で再度注意が促された。リーグ表彰式では会長より優勝チームに賞状と記念品のボールが手渡された。平成24年度市民リーグ優勝チームは次の通り。

- |           |    |          |           |             |             |               |           |             |            |          |        |
|-----------|----|----------|-----------|-------------|-------------|---------------|-----------|-------------|------------|----------|--------|
| 1A 美樹岡新横浜 | 1B | 2A 若葉台FC | 2B 藤の木SSC | 2C エスベランサFC | 2D ETDANGER | 3A Mr.Bahinos | 3B FCドミンゴ | 3C オロナグーナ横浜 | 3D GEO-XFC | 3E SCHFC | 4位は原FC |
|-----------|----|----------|-----------|-------------|-------------|---------------|-----------|-------------|------------|----------|--------|

横浜F・マリノスPが優勝

第38回横浜少年サッカー大会(市長杯)

1月5日、横浜スタジアムで行われた開会式で幕を開けた第38回横浜少年サッカー大会(市長杯)は、各チームがトナメントを戦い、決勝で横浜FマリノスPが激戦の末、黒滝SSCを破り優勝した。3位はSCHFC、4位は原FC。



もっと成長したい

横浜F・マリノス 岩井龍翔司

「ぼくたちは、大会前にたくさん点をとって優勝しようと思っても話し合いました。その結果、準々決勝のパディー戦こそPK戦で苦戦したけれど何とか乗り切り、決勝では

また、開会式にはなでしこJAPANの矢野選手、海堀選手や横浜F・マリノスの熊谷アンドリュウ選手たちが駆けつけてくれ、163チームの代表の選手たちと楽しくミニゲームを行った。



ハーフタイム

Jリーグが今年の5月15日で20周年を迎えた。さて、サッカーが日本で初めて上陸したのが横浜だと言われている。1868年(明治元年)にヨコハマカン

▽決勝戦  
 横浜F・マリノスP 5-0 黒滝SSC  
 △三位決定戦  
 SCHFC 4-0 原FC

点をとって優勝することができました。みんなで優勝カップを前に、輪になって大喜びしたのがとても嬉しかったです。もっともっと練習をして個人としてもキャプテンとしても成長してどこにも負けたくないチームにしたいです。

この延長線上にJリーグが存在するのである。まさにJリーグ百年構想そのもののスポーツ施設である。130年の重みを感じる。余談だが、Jリーグが開幕する直前のある日、当時の日本リーグ(JSL)2部に所属する住友金属サッカー部(鹿島アントラーズの前身)に入部する事になったジーコ氏を交えた同好会クラブチームとY&C&A Cサッカークラブとの親善試合があり、その時に線審をしながら、ジーコさんのテクニクやプレイ内容に感嘆した事、ゲーム後にクラブハウスでビールを片手に歓談した事などが今、甦ってきます。(中)

# かながわクラブが優勝 平成24年度市民大会



年度最終日の3月31日に平成24年度市民大会決勝戦V.E.R.D.R.E.R.O.港北対かながわクラブの試合が三ツ沢公園陸上競技場で行われた。あいにくの空模様であったがキックオフのころには雨も上がり、大勢の応援が駆け付けた。かながわクラブが3-0で新しくなった優勝カップを手にした。

## ベストイレブン横浜関係6選手 Jリーグ創立20周年を祝う

1年前のプリーズ第52号でW杯から10年とともにこの話題に触れたが、去る5月17日東京都内で「Jリーグ20周年記念パーティー」が東京都内で行われた。式典には高円宮妃殿下をはじめ歴代のチェアマンやジーコ氏、ラモス瑠偉氏などが集った。出席した横浜FCの三浦知良選手(46)

### ストイコビッチ (名古屋)

MF 遠藤 保仁 (G大阪)

MF 中田 英寿 (平塚)

MF 中村 俊輔 (横浜)

MF 名波 浩 (磐田)

DF 松田 直樹 (横浜)

DF 中沢 佑二 (横浜)

DF 井原 正己 (横浜)

GK 川口 能活 (磐田)

ベストゴール (磐田) 元横浜

ベストイレブン

FW 三浦 知良 (横浜FC)

中山 雅史 (札幌)



# すすきのレディースが連覇 第23回横浜少女サッカー大会

第23回横浜少女サッカー大会が3月20日、玄海田公園運動広場で行われた。同大会には8チームが参加、トーナメント戦の結果、FCすすき野レディースが決勝で横浜ウィングズをPK戦で下し、連覇した。

## プレーに集中できた すすき野 レディース 小笠原梨紗

今日は、強いチームがいる中、優勝できて良かったです。試合中、みんなとても集中してプレーできていたし、前半でもあまり良いプレーができなくても、後半は思いっきりプレーできていたので、すごく良かったと思います。でも、

創立明治元年(1868年)のソシヤル・スポーツ・クラブ「YC&AC」が5年後の創立150周年を前に新人事を発表した。会長にI・M・チュガニニ氏(インド)が就任し新理事に当協会会員でもある細貝真夫氏が日本人で初のYC&AC理事に就任した。YC&ACは現在創立から27年の大戦や統廃合を経て145年になる。サッカーはじめるラゲビー、ホッケー、

## 「公益社団法人」目指し YC&AC より深い交流を



左、細貝氏 右、チュガニニ氏

テニス、ローンボリング、クリケットなど多くの競技種目とレストラン、バー、プール、体育館、図書館、会議室などを持ち、まさしく総合型スポーツクラブの原型である。過去にもマラドーナ、ジーコなどの世界的名選手や日本代表などが来訪し、クラブ・メンバーとの親善試合などや、故高円宮殿下ご夫妻や横浜市長などをお招きしてパーティーが行われ、まさしく「スポーツをとおした社交」の具現者である。

新理事の細貝さんは「とにかく多くの人にYC&ACの良さを知ってもらいたい。歴史をみても横浜サッカー協会は、一番古くからお付き合いをしている団体でもあるので、より交流を図りたい。また現在、公益社団法人を目指しているのぜひ応援してほしい。」と抱負を述べた。

鹿島 vs 横浜フリューゲルス  
レオナルド (鹿島)

もう少しベンチを含む全員が声を出せたら、もっといい試合ができたのではないかと、思います。

この「横浜少女大会」が6年生最後の大会なので、優勝できて本当にうれしかったし、安心しました。

決勝戦では、時間内に決着がつかずPK戦になり、私はGKなのでとても緊張していました。でも6年生が「最後まで集中して、決められてもめげずにがんばって。」と言ってくれて、とても自信が

つきました。来年度は、大事なときに一言かけてチームを盛り上げられるようになりたいと思います。

## 華やかな イベント!! フットサル交流大会

第6回「新横浜公園インターナショナルフットサル交流会」が、2月24日「しんよこフットボールパーク」にて行われた。この大会は、国内のインターナショナルスクールなどの在日外国人のチームと地元の本国チームで、国際交流を目的に6年前から行わ

## 世界に通じる人材育成を 横浜F・マリノスプライマリー監督 西谷冬樹氏

横浜F・マリノスプライマリー監督 西谷冬樹氏

横浜市の各大会、全日本少年大会でも多くの優勝経験をもち、少年サッカーのトップチームともいえるのが横浜F・マリノスプライマリーである。永年その少年サッカーの指導に携わり、現在、横浜F・マリノスプライマリーの監督である西谷冬樹さんに少年サッカーの育成や今後の抱負について聞いた。

まずはマリノス・プライマリーの市長杯・ダンカンカップ優勝おめでとうございます。西谷 ありがとうございます。現在の活動状況は?

西谷 まず個人の個性を伸ばして、将来世界で通用する選手を育てたいと思います。幸い中村俊輔選手などのOBもトップチームで頑張ってくれているので良いサンプルになっていますし、より多くの経験をあたえて、よい選手に行きます。

また他の国々へも積極的に出て行くかと思えます。カタルなどにも行きました。ワールドカップも2014年がブラジル。2018年がロシア。2022年がカタール。2020年には東京オリンピックが開かれるかもしれません。そう考えると今からジュニアの育成には積極的に着手しなければなりません。西谷 そうです。今、小学校高学年の子供が2022年の



れているものである。今年もU-9とU-12ともに各10チームの参加があり、天気も良くにぎやかに楽しく行われた。

昼休みには元・読売クラブ(ヴェルディ)のCBコンビ、加藤久さんとジョージ・トレドさんが来場し「食事の重要性」などの話をされた。アトラクションでは獅子舞の演舞やボールリフティング・パフォーマンスが行われ華やかなイベントになった。来年はワールドカップ・イ



ヤーなのでさらなる盛り上がり期待したい。

カタル大会では若手のホープにならなければいけない。ただサッカーがうまいだけでは、人間形成や国際経験も必要です。マリノスでは、もっともつと良い人材を発掘して、育てていかなければならない。われわれ指導者も、たえず前進が必要で、停滞は退歩と同じです。

その昔、日本代表のコーチだったクラマー氏は「サッカーは少年を大人にし大人を紳士にする。」といわれました。西谷 まったくそのとおりだと思います。マリノスでは練習や遠征のみならず、「マリノス・カップ」などのオリジナル大会なども開催し、多くの教育機会を生みだしています。そんな中で成熟した選手、素晴らしい人間を生み出していきたいです。

今後ぜひ人材育成を続けていただいて、よい選手、よいチーム、そしてよい人間を育ててください。

## 法人会 員 一 覧

横浜マリノス(株)  
神奈川新聞社

(株) 横浜 シ ミ ズ  
横浜 食品 開発 (株)  
JFE 東日本 ジーエス  
(有) マ ル イ シ 工 芸  
(株) 横 浜 ア ー チ ス ト